

☆ ISO 11999-3:2015で記載されているように、建物内部における消火活動を考慮する高レベルの性能要求をする防火服は「防火服 + 活動服」性能要求を満たすことが可能とされている。この組み合わせの考え方を『ガイドラインで規定する防火服の性能要求値 ⇒ 「3」と仮定』

現行ガイドラインにおいては、性能要求値を満たす組み合わせは「1通り」

従前同様の①に加え、新たに②を追加することで選択肢の拡充を提案

現行ガイドライン
防火服「3」 + 活動服「要求なし」

改訂ガイドライン（案）	
① 従前同様	② 新提案
防火服「3」 + 活動服「要求なし」	防火服「2」 + 活動服「1」

☆ 防火服及び活動服を重ね着した際の、生地等の間（防火服を構成する生地層も含む）に形成された空気層は熱防護性を高くするために重要である。このことから、ガイドラインでは原則、活動服は着用するものとした上で、組み合わせる防火衣の性能に合わせて活動服の性能要求を提案する。

